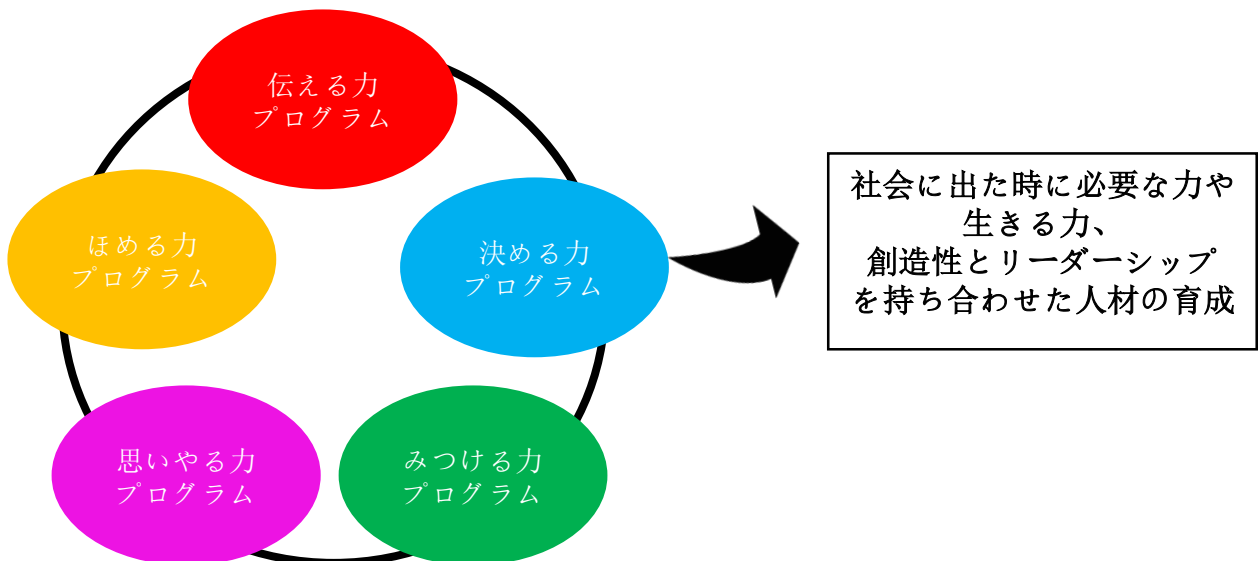


# ちからプログラムの概要

公益社団法人福井青年会議所  
ふくい人進展委員会

## ちからプログラムとは

グローバル化や人口減が進み、社会の変化の速度がますます速くなる時代になり、予測できない変化に主体性に且つ創造性をもって向き合うことが必要とされています。さらに、将来を予測するだけではなく将来を自ら作り出し、周囲の人々を巻き込み地域に積極的な変革を創造し開拓する人財が必要となっています。そこで、「ちから」プログラムでは、社会に出た時に必要な力や生きる力、さらには、創造性とリーダーシップを持ち合わせた人材を育成します。



## 道徳の教科化、アクティブラーニング、次期学習指導要領へ対応

小・中学校の「道徳の時間」が2018（平成30）年度以降、順次「特別の教科 道徳」（道徳科）になり「考え、議論する道徳」へと転換します。そうした転換は、全面的な改訂を検討している次期学習指導要領（小学校は2020＜平成32＞年度から、中学校は21＜平成33＞年度から本格実施）を先取りするものでもあります。

ただ知識を覚えさせるだけでなく、問題解決的な学習や体験的な学習を取り入れて、知識をもとに考え、身に付けさせる。こうした方向は、アクティブラーニング（課題の発見・解決に向けた主体的・協働的な学び）の導入をはじめとする次期指導要領の方向性と一致しています。道徳の教科化は、指導要領改訂を先取りする役割も担っており、本プログラムも対応しております。

## 伝える力プログラムについて

気持ちを正確に表現する力、コミュニケーション能力「伝える力」を育むためのプログラムです。

狙い：子どもたちから会話を引き出し、理論的な考え方を自然に身につけてもらいます。また、家庭でのコミュニケーションを通して家族の絆を深めます。

対象教科：道徳「家族愛」、総合の時間

活用例：授業参観、PTAや育成会の研修会等

対象  
小学校1～2年生

監修  
先生、保護者

所要時間  
1週間

## ほめる力プログラムについて

相手のことを聞き、考え、表現する力「ほめる力」を育むためのプログラムです。

狙い：「自分の考えを表現すること」、「相手のことを聞いて表現することの大切さ」を学びます。また、いじめの防止にもつながります。

対象教科：道徳「思いやり・親切」「友情」「個性伸長」、総合の時間

活用例：新しい学級が始まった時期、学級の友達関係を見直させたい時など

対象  
小学校3～6年生

監修  
先生、指導者

所要時間  
30分～60分

## 決める力プログラムについて

相手のことを聞き、考え、表現する力「ほめる力」を育むためのプログラムです。

狙い：「自分の考えを表現すること」、「相手のことを聞いて表現することの大切さ」を学びます。また、いじめの防止にもつながります。

対象教科：道徳「思いやり・親切」「友情」「個性伸長」、総合の時間

活用例：新しい学級が始まった時期、学級の友達関係を見直させたい時など

対象  
小学校3～6年生

監修  
先生、指導者

所要時間  
30分～60分

## 思いやる力プログラム

お手伝いを通し、自分でみつけて自主的にできる力を育成し、家族の役に立ち、社会の役に立つ人材を育成するプログラムです。

狙い：実際に家で一週間お手伝いをしてもらい、家族に役に立つことの楽しさ、家族から感謝されることの嬉しさを実感してもらいます。

対象教科：道徳「家族愛」「勤労」「思いやり・親切」、総合の時間等

活用方法：授業参観、PTAや育成会での研修

対象  
小学校全学年

監修  
先生、保護者

所要時間  
45分

## みつける力プログラム

発見すること、探すことを通してみつける力を育み、みつけてつくることが、みんなの役に立つ人材を育成するプログラムです。

狙い：円柱のカタチや紙コップのカタチでフシギを発見し、なぜそうなっているの？と探求し、実際に人の役に立つものを作ってみて、人の役にたつことの楽しさを学びます。

対象教科：道徳「創意進取」「勤労」、総合の時間、算数、国語等

活用方法：職場体験の一環、キャリア教育、算数で円柱を教える時など

対象  
小学校全学年

監修  
先生、指導者

所要時間  
45分～90分